

## 業績目録書作成要領

1.書式は例示に従う。

2.記入する項目と順番

- (1) 学位論文
- (2) 著書
- (3) 学術論文（査読制度のある雑誌に掲載されたもの）
  - 1) 原著論文
  - 2) 総説
- (4) その他の印刷物
- (5) 口頭発表

3.書式の詳細

- ①何れも、本人に下線を引く。
- ②Corresponding author の場合には、\*マークを付記する。
- ③誌名省略は、原則として ISO に従う。

(1) 学位論文

- ①著者名、題名（外国語の場合はその和文訳を併記する）、大学院名、研究科名、学位取得年月
- ②学位の種類と登録番号

(2) 著書

- ①古い物から、番号をつける。
- ②著者名、年号、題名、著書名、巻、ページ
- ③本人の役割（分担や監修等）が分かるように。
- ④100 編を超える場合は、主要な物を 100 編までとし、最後の行に、（その他 XXX 編）として全発表数が分かるように記述する。

(3) 学術論文（査読制度のある雑誌）

1) 原著論文

- ①古い物から、番号をつける。
- ②著者名、年号、題名、発表雑誌名、巻、ページ
- ③100 報を超える場合は、主要な物を 100 報までとし、最後の行に、（その他 XXX 報）として全発表数が分かるように記述する。

2) 総説

- ①古い物から、番号をつける。
- ②著者名、年号、題名、発表雑誌名、巻、ページ
- ③100 報を超える場合は、主要な物を 100 報までとし、最後の行に、  
（その他 XXX 報）として全発表数が分かるように記述する。

(4) その他の印刷物

- ①最新の物から 5 報、番号をつける。
- ②著者名、年号、題名、著書名、巻、ページ
- ③最後の行に、（その他 XXX 報）として全発表数が分かるように記述する。

(5) 口頭発表

- ①最新の物から主要な 5 報、番号をつける。
- ②著者名、年号、題名、学会名等発表集会名と発表日
- ③最後の行に、（その他 XXX 報）として全発表数が分かるように記述する。

業 績 目 録 書

【学位論文】

十和田 太郎. Paper disk granuloma 法による-----作用に関する研究.  
北里大学大学院獣医畜産学研究科. 1977年3月. 獣医学博士(北里大学). 甲第00号.

【著書】

1. Nxxx, H., Kxxxx, S., Txxxx, T., Towada, T., Uxxxx, H., Sxxxx, T., Kxxx, S. and Mxxx, Y. 1995. Modulation of ----- channels: Potential ----- and reperfusion. pp.107-117. *in* Recent Progress in -----Heart. (Txxxx, J., Hxxxx, M. and Kxxxx, I. eds.) CRC press, New York. (分担)

2. 十和田 太郎, 〇山 〇夫. 2000. 熱帯性マラリアの抗マラリア薬併用療法 (ACT) . pp 213-220. マラリア制圧の新たな展開. (〇部 〇造 編) 〇×出版, 大阪. (分担)

【学術論文, 原著論文】

1. 〇澤 〇夫, 〇呂 〇雄, 十和田 太郎. 1971. Clonixin の-----に関する研究. 応用薬理. 5 : 841-850.

2. 十和田 太郎, 〇澤 〇夫. 1976. Glycyrrhetic acid-----作用. 日薬理誌. 73 : 557-569.

3. Axxx, A., \*Towada, T. and Mxxxx, S. 1992. Cardiovascular effects of central ----- in anesthetized cats. Neuropharmacol. 32: 185-193. (\*Corresponding)

4. Mxxxx, K., Towada, T., Sxxxx, T., Mxxxx Y. and Nxxxx, H. 1995. Anticholinergic effects of ----- in guinea pig atrial cells. Different molecular mechanisms. Circulation 91: 2834-2843.

5. Towada, T. and Nxxxx, H. 1995. SD-3212, ----- potassium current in guinea-pig atrial cells. Br. J. Pharmacol. 116: 2750-2756.

99. Yxxxxx, H., Hxxx, N., Oxxxxx, M. and Towada, T. 2009. Visfatin causes ----- in isolated blood vessels. Biochem. Biophys. Res. Commun. 383: 503-508.

100. Mxxxx, M., Yxxx, H., Oxxx, M. and Towada, T. 2010. Methylglyoxal enhances

業績目録書の例示

sodium ..... relaxation in rat aorta. J. Pharmacol. Sci. 112: 176-183.

(その他 15 報)

【学術論文, 総説】

1. Pxxxx, L. K., Towada, T., Dxxxx, S. P. and Bxxxxxx, D. L. 2002. The changing future of exchanger. Ann. Rev. Pharmacol. Toxicol. 44: 1123-1135.

【その他の印刷物】

1. ○藤 ○太, ○澤 ○夫, ○上 ○, 十和田 太郎, ○井 ○子. 1973. 4-Allyloxy-3-chloro.....の鎮痛および抗炎症作用. 医薬品研究. 4: 397-412.

2. Towada, T., Oxxxx, M. and Mxxxx, S. 1994. Effects of ..... on the spinal reflex potentials in cats. 新薬と臨床. 43: 1613-1620.

【口頭発表】

1. ○田 ○善, ○脇 ○之, 十和田 太郎. 2010. ラット心線維芽細胞.....分泌に及ぼ.....の影響. 第 1XX 回 XXXX 学会学術集会 (東京). 2010 年 3 月 XX 日・XX 日. 講演要旨集 p 308.

2. 十和田 太郎. 2010. マウス心臓の.....の作用. 第 1XX 回日本 XXX 学会 (札幌). 2010 年 1 月 XX 日. ....講演要旨集 p 123.

3. ○脇 ○之, 十和田 太郎. .... 2009. 培養血管における.....研究. 第 1XX 回日本 XXX 学会 (福岡). 2009 年 6 月 XX 日. ....講演要旨集 p 234.

4. Mxxxx, M., Yxxxxxx, H., Oxxxx, M. and Towada, T. 2009. Methylglyoxal inhibits ..... blood vessel. The Annual Meeting of ..... Society (Yokohama). XX-XX March, 2009. J. Pharmacol. Sci. 109 (Supp. 1) 165P.

5. Towada, T., Nxxx, H., Kxxx, K., Okxxxx, M. and Yxxxxxx, H. 2007. Captopril improves MCT-induced .....of matrix metalloproteinases. XIX World Congress of The International Society for Heart Research (Bologna, Italy). 22-25 June, 2007.

(その他 50 報)